

広報



第487号

あぐね



夏休み最高の思い出を築く 大川小剣道少年団が全国優勝

第二十二回全日本少年剣道大会が七月二十五日、日本武道館で開かれ、大川小学校剣道少年団(下関重志監督)が見事優勝しました。

大会には全国から三百六十チームが参加。これを六ブロックに分けて予選を行い、各ブロックの上位チームで決勝トーナメント。

大川小剣道少年団は、予選は圧勝したものの、決勝トーナメントでは苦戦しながらも勝ち進み、決勝では佐賀県の三田川剣友会を二対〇で下し、大優勝旗を手に入れました。

同少年団は二十七日に阿久根駅に帰着、父兄や児童ら約百人から大きな拍手で迎えられた子どもらは、日本一にされた感激を新たにしています。

選手は次のとおりです。

(敬称略)

花本 剛(六年) 的場和樹(六年)
川畑裕樹(六年) 松崎和徳(六年)
中野雅之(五年) 下関真由美(五年)

62年
8月号

には若い人が少なかで寂しか みんなで知恵をだしあい 楽しか所にしたら!!

過疎化が進み、若い人が減り寂しくなっていく集落、校区……。

しかし、こういう時代だから「私たちが望むものは、いろいろな

活動や行事等をしていくなかで「生きがいのある楽しい生活」を送る

ことではないでしょうか。

このことから、今、市内では村づくり運動が積極的に進められている

集落や校区などが増えています。

それぞれの集落で活気を呼びもとし、それが校区へと発展していけ

ば、おのずと市全体の活性化につながってくるのではないのでしょうか。

今月号は「村づくり」についてスポットをあててみました。

**厳しい時代だからこそ
生きがいが必要では
子どもからお年寄りまで
楽しめる村づくりを!!**

市内をまわってみて、よく年輩の人が話をするのが「昔は若い人がたくさんいて、うちの村もにぎやかだったが、最近は若い人も数人いるだけで何か寂しい感じがします。これではいけないと思っ

と思いますが、確かに若い人が各校区とも少ないのは事実でありま

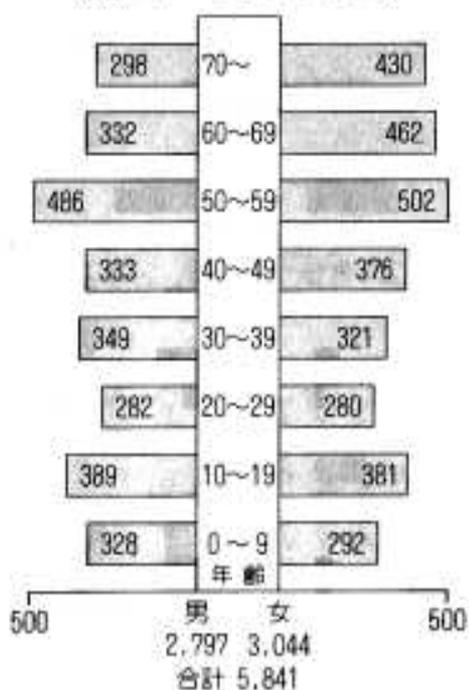
す。ただ、このピラミッドではわかりませんが、赤瀬川地区の一部では近郊型時代ともいうのでし

ょうか、市街地のすぐそばで、住むには最適という考え方から年々住宅も増え、若い人たちも多くなり

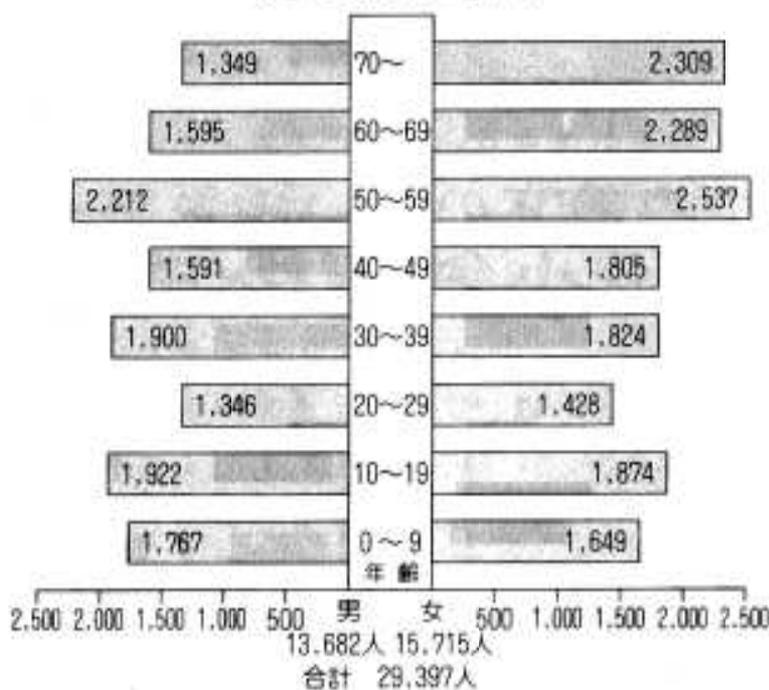
つとあります。

その反面、市街地から離れている校区をみると、二十歳代の人が極端に少なくなっているのが

(脇本・隼人校区)



(阿久根市全体)



市全体及び各校区別の人口ピラミッド
(昭和六十二年七月一日現在)



区民の親睦と発展を願って行われる波留区の六月灯

「うちの地区 だったら」

ある人は「市営住宅でもあれば若い人たちも住み、寂しい集落にも活気がでてくるのでは」と言われます。

市でも、このような人の意見を重視し、市営住宅等の建設にも積極的に力を入れてきておりますが、しかし、いざ建設となると土地の問題等でなかなか進展せず、建設までに至らないというのが実情で

このようなことを考える時に、地区に活気をうながす村づくりも若い人たちが多くここにこうしたことはありませんが、区民全員が自分たちの住む集落は自分たちの手でお互いに協力して村づくりを展

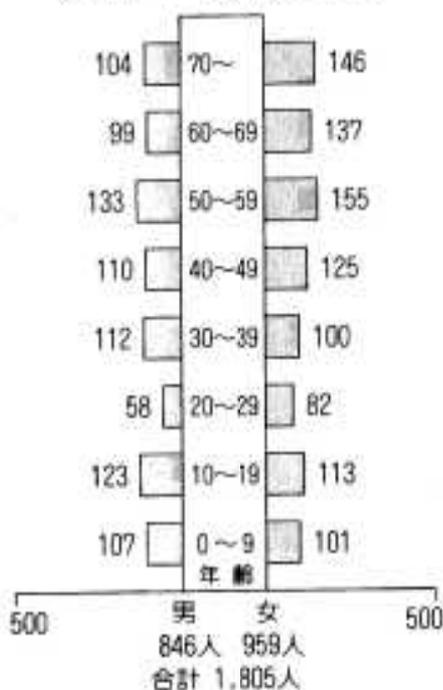
市営住宅や県営住宅のある区民の皆さんは、このように言われています。「私どものところに市営住宅ができ、若い夫婦も多く住み、地区に活気がでてくると期待していましたが、しかし、一部の方は都会的な考え方を持っていて、いらいやるのでしようか、地域で活動や行事をしてもなかなか参加してもらえず、自分たちは関係ないという方もいらつしやいます。一部の人のおかげで地区全体がまとまりにくくなっていることも事実です」。

「市営住宅の建設、若い人の人居着うれしい」
だが、もつと参加してほしい地区の活動や行事にも

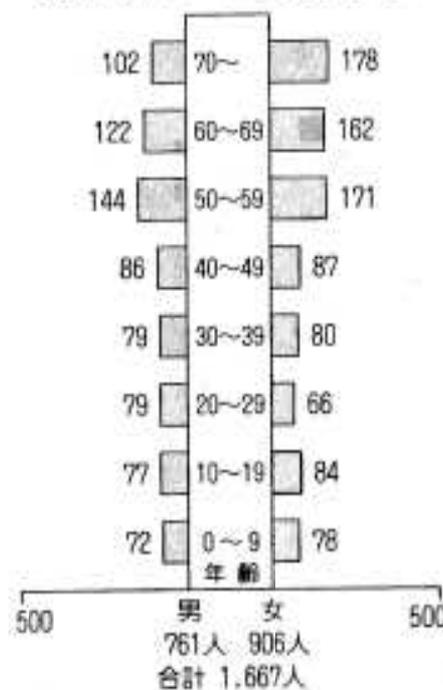
あります。

確かに言われるとおり、市営住宅等ができれば若い人が住み、ある程度はその地区にも活気がでてくることはまちがいないと思いますが、しかし、地区の活性化ははたしてそれだけが原因でしょうか。

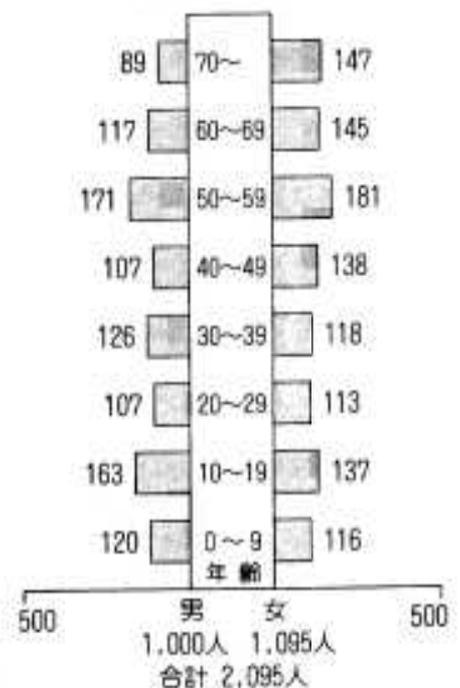
(山下・尾崎校区)



(鶴川内・田代校区)



(折多校区)



開することこそが大事であると言
えるでしょう。

運動会・祭り行事 環境美化活動などで 魅力ある 村づくりをめざす

現在、市内の各集落や校区では、
いろいろな行事や活動を行って
います。

集落では、運動会や文化祭、あ
るいは環境美化活動、老人クラブ
の皆さんが先生になっての史跡めぐりなど、それぞれ親睦を大きな
目的として行われています。

また、校区では市内のほとんど
で運動会やソフトボール大会など、
目的はやはり親睦が大きな柱とな
っているようです。しかし、一部
では参加の顔ぶれが毎年同じ人ば
かりであり、なぜ参加してもらえ



村づくり運動として各地区で最も多く行われている運動会

ないのだろうかということで関係
者の悩みもあるようです。

そこで、主催者側としては全員
に参加してもらうようアイデアを
考えました。

だしあい、呼びかけを行っている
ところですが、なかなかうまくい
かず大きな壁となっていることも
事実です。

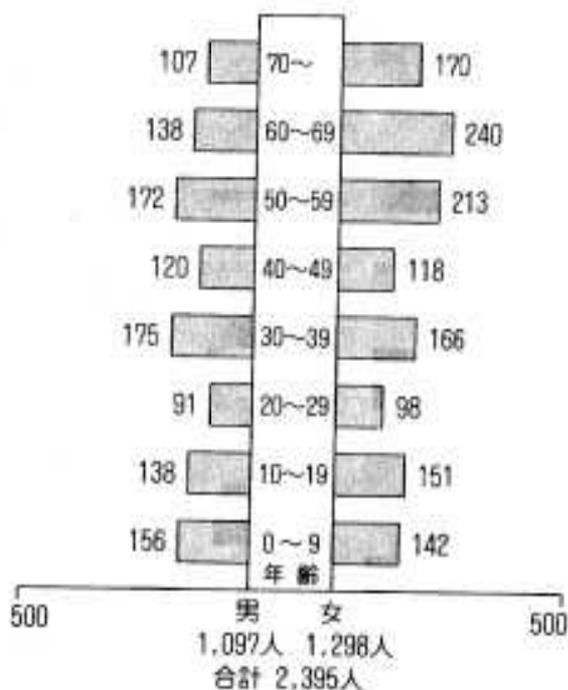
「オラが村の自慢」を 考えてみたら

考えてみたら

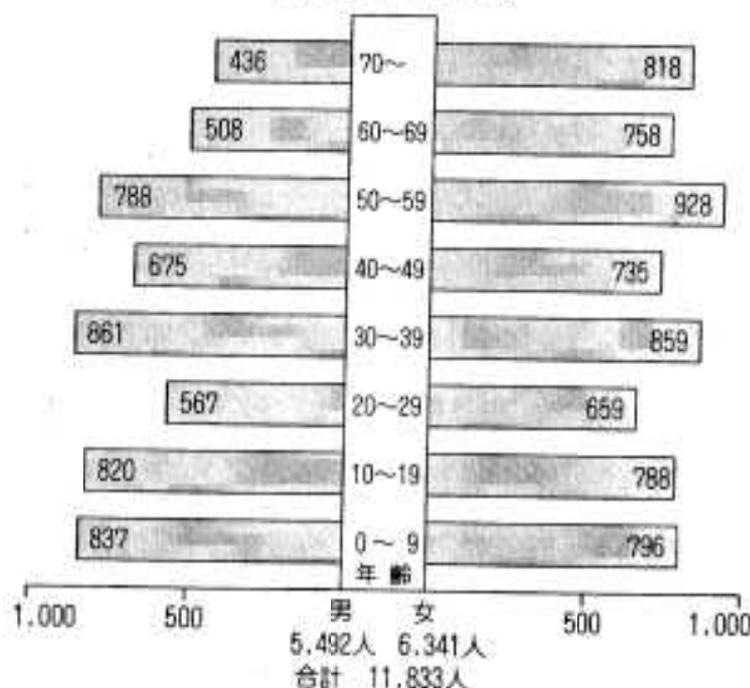
私たちの集落には若い人が少な
く活気がないと多くの人が思われ
ていると思いますが、それぞれの
集落には個性豊かな「他に誇り得
るもの」がいくつもあるはずで
す。自分たちの住む集落や校区の人
たちが自主的に話し合いを行い、

自分たちの村の「誇り得る自慢で
きるもの」を一緒に考えて、探
し出してみたいかがでしよう。
例えば、手づくり加工品、共同
活動、スポーツ、レクリエーショ
ン、健康対策、良い習慣、芸術、
青少年、婦人、老人クラブ等の活

(西目校区)



(阿久根校区)



動、ふれあい活動、自然愛護運動など、いろいろなものが見つかるとは幸いです。

これらの中から「オラが村の自慢」として、みんなで知恵と力をだしあい、他の集落より校区より、すぐれたものをつくりだしていけば、活気のある楽しい生きがいのある村づくりができるのではないのでしょうか。

楽しい集落にするために みんなで力を合わせて

今の子どもは塾に、また一分でも勉強をという厳しい時代に生きています。

お父さん、お母さんも子育てに、仕事にと毎日忙しさに明け暮れているような感じがいたします。

おじいちゃん、おばあちゃんもゲートボールを、健康づくりもかねて楽しまれていますが、しかし、病院通いしているお年寄りも少なくはありません。

私たちは今一度、子どもからお年寄りまで楽しみのある村づくりを考えてみたらどうでしょうか。

そのためには、活動や行事等にもみんなが参加して連帯感を深め自分の住んでいる集落は、校区は「楽しくて、よか所」と、本当に思える村づくりも決して夢ではないと思います。

牛之浜区の 一年間の主な活動実績

- 四月 ○春のミニ文化祭
- 五月 ○老人と子どものふれあい活動で史跡めぐり
- 七月 ○広場や公園などを清掃
- 九月 ○バレーボール大会
- 十月 ○運動会
- 十一月 ○公民館で育成会の読書会
- 十二月 ○老人と子どものふれあい活動で広場など清掃
- 一月 ○完走歩大会
- 二月 ○昔の遊びを一緒になつて楽しく遊ぶ



牛之浜区のミニ文化祭

このほか、盆栽クラブやスポーツクラブなどが組織され、活発に活動が行われています。

明るく豊かで 活力ある村づくりを



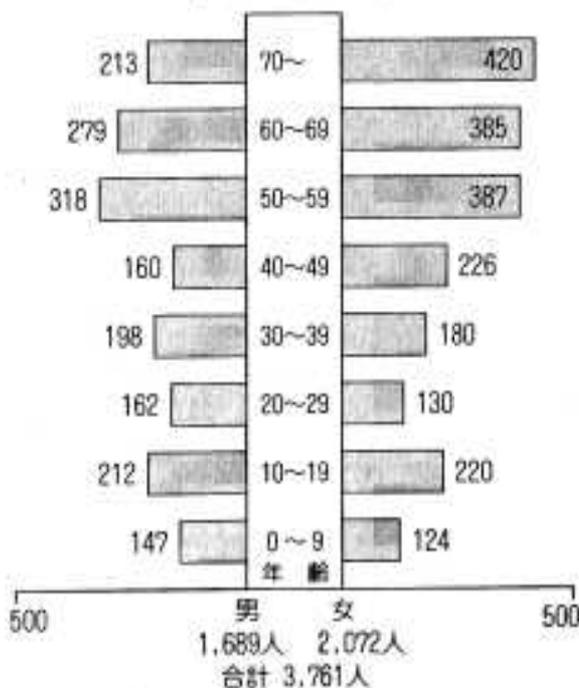
牛之浜区 出 寛(42)

私たちの集落は、田畑の耕地面積も少なく、若い人は共働き、または出稼者等が多い所であり、また活気のある住みよい村づくりをめざそうと諸活動を行い、がんばっているところです。区民の親睦を図り、相互の理解を高めて、楽しい集落にするた

めに年間行事計画表に基づき、完走歩大会、文化祭、運動会等を実施しています。また、子どもと老人とのふれあい活動として集落の史跡巡り、敬老の日の幼稚園から大人までの踊り、子供と老人まで参加して昔の遊び道具を作り、その道具を使って楽しく遊んだり、この他老人と子どもとのふれあいゲートボール等も行っております。

集落全員の楽しい村づくりのために、今後は次代を担う青少年の健全育成と、明るく豊かで活力のある村づくりを推進していくことが私たちみんなの願いとするところであります。

(大川校区)



燃えろ上桑 築け我等の理想郷



桑原城上区 信 治(60)

戸数わずかに三千七戸の小さな集落ですが、昭和五十七年から区の発展と区民の親睦を目的に本格的に村づくり運動を進めております。

毎月一回定例会を開催し、ひざを寄せ、知恵を出し合って実践に心掛けているところですが、

その間、区民の集會、行事等への参加、連帯意識の結集は目を覚ますものがあります。

特に区の産業祭は回を重ねる毎に盛会であり、新しい純農村地帯での村づくり運動の方向として、関係筋から注目を集めているところとす。

この他にも成人学級、生活会議、郷土誌発行、運動会、村仏供養等、年間計画に基づき、区民総意の活動として生涯教育を實踐しているところです。

私たちは、この村づくり運動が更に充実発展し、活動の輪が広がり、住みよい豊かな郷土の実現を願っております。

第2回臨時市議会

助役に新栢勝記氏を三たび選任 収入役には新しく濱之上訓衛氏

第一回臨時市議会が八月七日開かれ、同意一件と議案一件が上程され、原案どおり可決されました。同意一件は、八月七日で任期満了に伴う助役と収入役の選任で、

丁に伴う助役と収入役の選任で、助役には三たび新栢勝記氏を、収入役には新しく濱之上訓衛氏を選任することに同意したものです。

議案一件は、阿久根中学校屋内運動場改築工事の請負契約を結ぶため、議会の議決を求めたものであります。



助役(3期) 新栢勝記(60)
西日飛松

残暑が殊のほか厳しく感じられる今日この頃でございますが、市民の皆様には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。
私は八月八日助役に選任されました。昭和五十四年助役を拝命以来二期八年に渡り常に多くの方々の温かい御協力を頂き、まことに有難く深く感謝申し上げます。
今また地方自治体を取りまく環境が極めて厳しい状況の下で更に助役に選任されたことは、私にとりましてその責任の重大さに身のひきしまる思いがいたします。
もとより微力ではありますが誠心誠意川畑市長のよき女房役としての本務に徹しその職責を全うして参りたいと存じますので皆様の格段の御協力をよろしくお願い申し上げます。

就 任 の あ い さ つ



収入役(新) 濱之上訓衛(59)
藤本下村
前市役所企画課長

今回はからずも、阿久根市収入役に選任され、去る八月八日就任致しました。
今日、地方自治体を取りまく情勢は、ますます厳しく、私共の阿久根市もその例外ではありません。
このような中で収入役としての職務の重大さを今身にしみて感じております。
もとより、すべての面で微力を私ではございますが、市民各位のご協力を得て誠心・誠意その職責を果すべく渾身の努力を傾ける覚悟であります。
どうか、前川辺収入役同様特段の暖かいご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ここに衷心よりお願い申し上げます。収入役就任のご挨拶と致します。

“農業発展のため がんばってください” 新しい農業委員決まる

会長には川崎正人氏を選出



江良選管委員長から当選証書を受ける農業委員の皆さん

七月十九日の任期満了に伴う阿久根市農業委員会委員選挙は七月五日に告示され、立候補受付が行われましたが、立候補届出をしたのは定数と同数の十二人であつたため無投票当選となりました。
農業委員は、農業者の利益代表機関として農用地の確保と有効利用を図るとともに、地域農業集団や農業担手の育成強化、農業者年金業務の推進などを行い、任期は二年間となっています。
当選証書の交付は、投票日になつてから十二日の翌日の十三日に市役所会議室で行われ、江良英千代選管委員長から一人ずつに渡されました。なお、会長には尾崎区

の川崎正人氏、職務代理者には筒田区の筒豊志氏を選出しました。
当選した委員は次のとおりです。
届出順 敬称略(一)は年齢と区名
川崎正人(61・尾崎) 松永良遠(65・牛之浜) 神之田月教(60・仲屋敷) 宇都清任(48・古里) 筒豊志(52・筒田) 池脇人志(56・丸内) 山下正雄(64・梶之浦西) 寺地伊佐夫(67・尻無上) 椋山学(54・黒之上) 京田道弘(42・瀬之浦上) 新藏米男(54・新町) 榎末彦(57・榎)
また、団体推薦の農業委員は次のとおりです。
(市議会) 山田勝 (阿久根市農業協同組合) 前田本雄 (三笠町農業協同組合) 中野賢機 (出水地区農業共済組合) 上野時義

地域ぐるみで「心身ともに健康な青少年育成を」

市青少年育成

市民会議が誕生

心身ともに健康な青少年を育成するために、市民すべてが青少年育成に対する意識を高め、地域ぐるみの活動を活発にすることによって市民総ぐるみで青少年育成を推進しようと七月十四日、市青少年育成市民会議が発足し、市中央公民館で総会が開かれました。



各部会でのまとめを全体会で発表

い、会長に川畑強市長、副会長には大磯政明教育長を輩出。このあと総務部、指導援助部、環境部の三部会にわかれて専門部会が開かれました。

部会での主な意見は次のとおりです。

▼総務部会

○「市民会議だより」を発行し、市民会議の意義等を周知させる。

○青少年の意見をとりあげる。

○「青少年育成の日」が市民に理解されていないので、広報を通じて、みんなが参加できるように、また「青少年育成の日」の看板を各校区に設置する。

○現在できている地域での「高校生クラブ」をもっと増やし、活発に活動してもらおう。また「幼児をもつ両親学級」も啓蒙して、もっと人数を増やし、活動するべきである。

▼指導援助部会

○研修会等に積極的に参加を図る。

○地域での「高校生クラブ」の結成を進める。

○「家庭教育学級」の充実を図る。

▼環境部会

○非行防止対策の推進として、各地区の非行のたまり場を洗いだし、情報交換により「リスト」を作る。

○各校区ごとの「青少年育成推進委員会」の組織づくりを進める。

○美化活動の推進を図る。

以上ですが、市民会議では、これらの意見に基づき、健全な青少年育成活動を地域ぐるみ、市民ぐるみで展開できるように実践していく方針であります。

魚に食べられる心配がないということですが。

同センターで水槽から容易に移されたガザミは西目漁協組合員らの手で大川島海岸に丁寧に放流、一年後には約十センチほどの成ガニになり漁が出来ます。

将来のガザミの年間栽培目標は五十万匹であり、このほかに十月にはアワビ、六十四年にはヒラメの試験栽培を行う予定です。

試験栽培 着々と進む ウニにつづき ガザミ(ワタリガニ)も放流 ～市栽培漁業センター～

市栽培漁業センターでは、五月にアカウニ約二万個を放流しましたが、今度はガザミ約二万匹を七月十三日、大川島海岸に放流しました。

放流したガザミは六月十五日に親ガニから採卵したもので約一センチほどに成長。この大ききになると放流しても砂に潜れる力がつき、



ガザミを放流する西目漁協組合員

税の相談日

8月20日(木) 午前10時～午後3時

9月21日(月) 午前10時～午後3時

▽場所 阿久根商工会議所
※相談は無料ですので、お気軽におこしください。

消防ミニニュース

～今年までの累計～

7月の火災発生件数 1(10)

7月の救急車出動回数 49(364)

年金相談日

8月20日(木) 午前10時～午後5時

9月21日(月) 午前10時～午後5時

市役所

ワンちゃんのひきとり

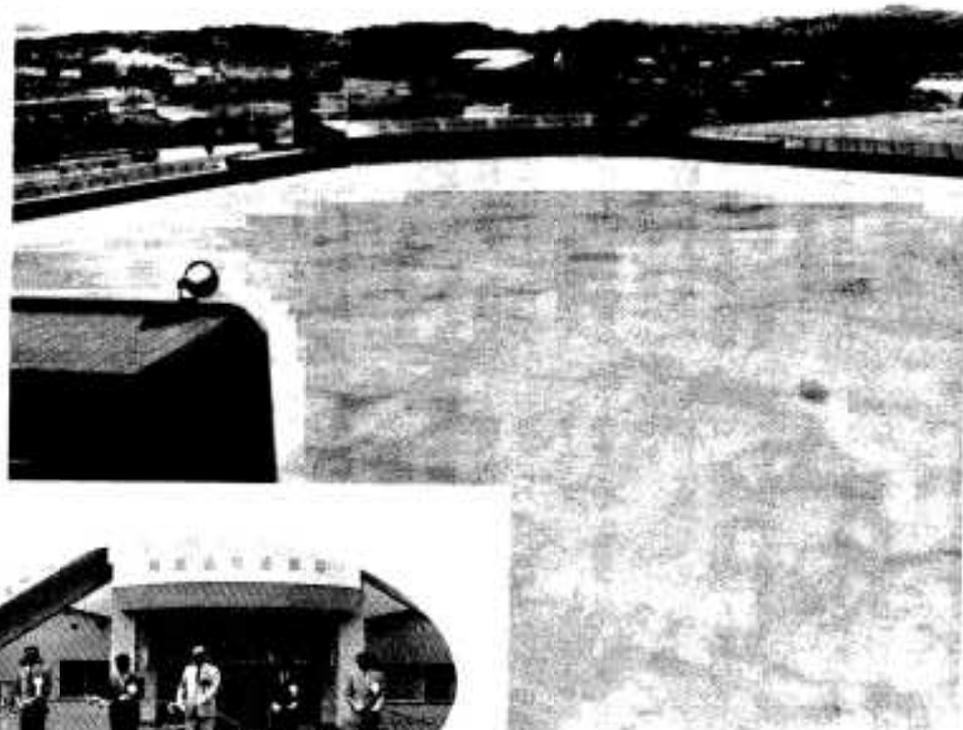
8月25日

9月1日・10日

午前10時～10時30分

保健センター

① 野球場



昨年からの建設が進められていた野球場と六面の庭球場、管理棟がこのほど完成し、その落成式が七月三十一日、B & G体育館で開か

れました。式には、国、県からの来賓や市内の関係者など約二百五十人が出席し、落成を祝い喜びました。

市民の活力を養う総合運動公園 野球場と庭球場も完成



完成した野球場前で喜びのテープカット

野球場の広さは二万平方メートルで建設費は約一億五千万円。グラウンドは両翼九十二メートル、中堅百二十メートル立飛球場とほぼ同じ広さ。本部棟、バックスクリーン、スコアボードのほかバックネットの裏には三百のイス席もある立派な球場です。

庭球場の広さは五千五百平方メートルで建設費は約七千三百万円。六面のうち二面は全天候型で、本部棟のほか夜間照明施設も設置されています。

管理棟は鉄筋平家建ての百平方メートルで、建設費は約二千万円。公園全体の管理事務所となります。



なお、庭球場は既に使用が始められていますが、野球場は芝の育成期間があるため九月初旬から使用が可能になります。

これらの施設の完成で陸上競技場、勤労者体育センター、B & G体育館、B & Gプール、弓道場、テニスコート、サッカーやラグビーにも使用できるソフトボール場と、総合運動公園の施設としては、ほぼ完成したことになります。

市民の皆さんの健康増進や体力向上、地域や職場の親睦づくりの場として大いに利用が図られ、喜ばれることと思います。



⑥ B & G体育館



② 陸上競技場



① 勤労者体育センター

立派な野球場で 試合ができる喜び



区 一雄(38)
波 遺 矢

軟式野球愛好家として永年の夢であった専用球場が完成の運びとなり大変喜んでおります。
先日、球場に行つて一目見た瞬間、こんな立派な球場で野球ができるまで現役でおれた事を幸いと思ひ、感激しているところです。

現在でこそ、総合グラウンドに野球ができる設備がありますが、以前は大川中や阿久根高校などを使つて、とても不便な思いをしたことがあります。
しかし、今回このような立派な球場ができ、私たち社会人の草野球仲間だけに限らず、中学生、高校生の人たちも大変喜んでいてることを思います。
この球場完成により阿久根市の野球の底辺も広がり、技術の向上にもますます磨きがかかり、野球熱も盛り上がることを確信いたしております、野球場を作つてくださったことに對し深く感謝しています。

④ 庭球場



⑤ 管理棟



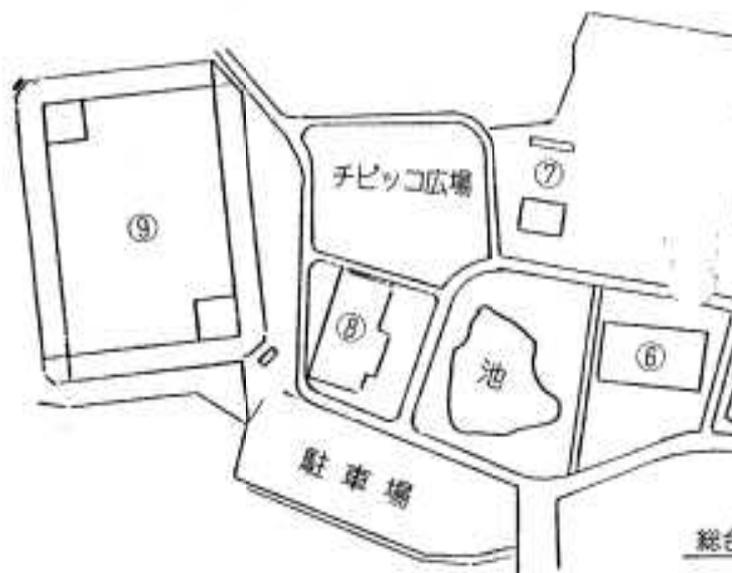
夢が現実となった 庭球場



区 松 山口士郎(42)
飛

県民大会に出場するたびに各市町のすばらしい庭球場を見て「ああこのような庭球場が阿久根にもほしいなあ」と、チームメイトと夢みない話をしてきたものでした。しかし、その夢みない話が現実となったわけでありませう。

先日の落成式に出席した時、うれしきより本当にそのすばらしい庭球場に驚きました。この庭球場であれば、他のどの市町村にも負けない庭球場であります。
これからは中学生、高校生、一般の方々に、どしどし利用していただき、阿久根市と聞けば「庭球の町」と言われるぐらいにレベルアップと庭球人口の増加を圖らなければならぬと思います。
このような、すばらしい庭球場でプレーができる私たちが庭球愛好者や学生等は本当に幸であり、関係各位に感謝しているところであります。



⑨ ソフトボール場



⑧ B & G プール



⑦ 弓道場



アルバム

⑦1211内214へ



優勝に喜ぶ佐潟消防分団



小型ポンプ 佐潟分団優勝
ポンプ車 中央第一分団優勝
市消防操法競技大会

毎年行われる市消防操法競技大会が七月十九日、市役所南側駐車場で行われました。

出場チームは、小型ポンプ二十チーム、ポンプ車五チームで、大ぜいの関係者が見つめる中、各分団とも汗ビッシュヨリになり、力いっぱいがんばっていました。

成績は次のとおりです。

▼小型ポンプ 優勝 佐潟分団
 二位 折口分団 三位 桑原城分団 四位 赤瀬川分団 五位 多田分団

出水支部大会でも 佐潟分団優勝

また、出水地区の各市町の優勝チームが集まって競う出水支部操法競技大会は七月三十日、出水中学校で行われ、佐潟分団は優勝、中央第一分団は準優勝という立派な成績を収め、関係者らも大変喜んでいました。

▽ポンプ車 優勝 中央第一分団
 二位 大川分団 三位 三笠分団

空き缶拾いや草とりで さわやかな汗を流す

3万人クリーン作戦

市民総ぐるみで阿久根市を美しくしようと7月26日、青年会議所主催による第2回3万人クリーン作戦が展開されました。

市内の各地区で、朝のラジオ体操終了後、一斉に空き缶拾いや草とりなどが行われ、参加者らはさわやかな汗を流していました。



生かせ「やる気」と大きな「自信」 今年も全員完泳

第3回B & G水泳教室生の遠泳

B & Gプール水泳教室生の遠泳やカヌーなどが7月21日行われました。

予定コースの大島～五色浜海岸が潮の流れが早かったため、五色浜海岸～療養所阿久根病院下海岸までの約2.7kmに変更。遠泳に参加した小学生ら101人は約1時間30分かけてゴールし、子どもたちの顔は喜びと自信に満ちあふれていました。





みんなの

行事・催し物など
お寄せ下さい。

各種目別成績表

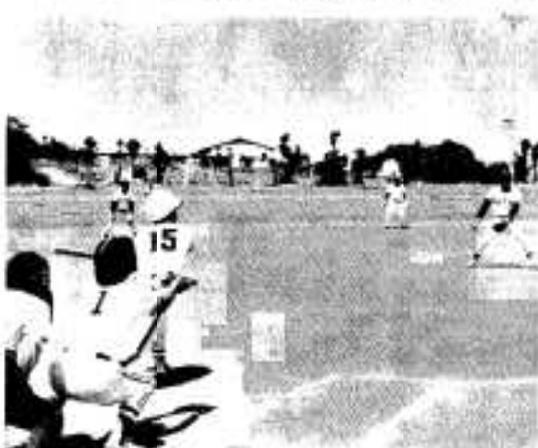
種目	市町名			
	阿久根市	全長島	牛深市	順位
剣道	2	3	1	
柔道	2		1	
弓道	1	3	2	
庭球	1	3	2	
野球	1	2	3	
ソフトボール	2	3	1	
男子バレーボール	1	3	2	
女子バレーボール	1	3	2	
軟式バレーボール	2	3	1	
卓球	1	2	3	
男子ゲートボール	1	2	3	
女子ゲートボール	2	3	1	
オン1種目	個人戦実施			
ソフトボール	2	3	1	

歴史的、地理的に密接な関係を持つ牛深市、長島町、東町、阿久根市の友好親善を目的とした第二十五回三地区親善体育大会が七月二十六日、今年はお市で開催されました。

種目は野球など十二種目の採点競技と、議員ソフトボールなどのソフトボール大会。総合成績は優勝阿久根市二位牛深市三位全長島。

猛暑のなか熱戦展開
阿久根市が総合優勝

三地区親善体育大会



議員ソフトボール大会

スイカの糖度検定や測量など
中学生が1日体験入学

阿久根農業高校

北薩地区の中学3年生80人(男40人女40人)が農業教育に対する理解を深めようと7月22日、阿久根農業高校に体験入学しました。

農業では草花の繁殖や肉用牛の体尺測定、家政では赤ちゃんのエプロン作りなど、生徒らは初めての貴重な体験に喜んでいました。



船で渡って楽しんだ長崎観光旅行

野母崎とのカーフェリー就航推進事業

市では、長崎県野母崎町とのカーフェリー就航をめざす事業として7月26日、27日の1泊2日の長崎観光旅行を実施しました。

参加者は市が公募した96人で、ほとんどが家族づれ。市が借りあげた高速艇で2時間かけて野母崎に着き、長崎市街地まではバスで1時間。

オランダ村や平和公園などの観光を楽しみました。



おかあさん ③0

ありがとう



晋也くんと上村真由美さん(お母さん)

梅 区

上村 晋也 (6歳)

ぼくのおかあさんは、あさがいちばん いそがしいです。おとうさんと ゆかのべんとうをつくらします。きょうだい4人をつくりました。ごはんのよういをして ついだりみそしるをついだりして おてつだいをします。おかあさんのりようりはおいしいです。とくにぎょうざがすきです。あせびつしよりでくさとりをしているおかあさんを見ますますすきになりました。

むかしのこどもの

あそび

④8



「水てっぽう」

あつくなると、水てっぽうを作り誰が一番遠くまでとばせるかを争った。「木六竹八」といって竹を切るのは八月がいいといわれる。太さ三寸、長さ三〇センチ位に切って水を入れる筒と、おし棒の二つを作る。水の中にてっぽうの先を入れ、おし棒を引いて水を吸い上げ、おし出すのである。

農事だより(8月末~9月)

県阿久根農業改善改良普及所から



うだるような暑さが続きます。健康には、充分心がけて、この夏をのりきりましょう。

○抑制インゲン、年内どりキヌ サヤエンドウの作り方
小面積で短期間に収穫できる有利な作物です。
(1) 播種は八月下旬から九月初めです。早目に準備をしましょう。
(2) 土じよ消毒、クロールピクリンで、は種三週間前に消毒する。使用量は、十アール当り全面消毒で三〇ℓ、畦内消毒一五ℓ程度。
(3) 品種、抑制インゲン、キーストンスシナシ江戸川、スノークロツブ等、小莢で緑色の濃いのがよい。
(4) 台風対策、ソルゴー等を囲りに

うだるような暑さが続きます。健康には、充分心がけて、この夏をのりきりましょう。

○夏播エンバクの作り方
草の不足する十二月から青刈、サイレージとして利用できるエンバクを作りましょう。
(1) 品種、ハヤテ
(2) 播種期八月下旬から九月上旬
(3) 播種量、条播(四五センチ)で八kg、散播で十二kg程度です。
(4) その他、刈取後の再生がないのでイタリアン三kg混播もよい。
○温州みかんの摘果作業
小玉、病虫害果を主体に仕上摘果を九月上旬までに実施して下さい。

播いて、防風垣を作る等対策必要
○普通水稲の管理
八月下旬から九月上旬は出穂となりませう。
(1) 間断灌水で稲の倒伏を防ぎませう。
出穂、開花期は稲にとって水が必要な時期ですので不足しないようにします。また穂が垂れてきたらとどき落水して根に酸素を与え、根の老化を防ぎませう。
(2) 病虫害防除対策
穂イモチ、葉イモチ、紋枯病の発生時期になります。またトビイロウンカ、コブノメイガの発生も予想されますので、発生状況を観察して、防除歴によって適期に防除して下さい。

昭和62年度阿久根市少年少女弁論大会

▷日 時 昭和62年 8月25日(火)
午前9時25分~12時00分
▷会 場 市中央公民館ホール
▷出場者 各小・中学校代表者

市内の小中学校の児童生徒が自分の訴えたいことを持ち時間の5分にまとめて堂々と熱弁をふるいますので市民の皆さんも気軽にご来場ください。

21世紀を担う
子どもたちの
熱弁を聞いて
ください

阿久根の民話 ⑥4 かつぱのしかえし



昔、尻無川をすつと上りつめた源のところに夫婦が住んでいた。冬を迎えたある晩のこと、主人が寝た目で目をさますと、その声はおかみさんだった。寤だなあと思いながらも別に人の気配もないので、また眠ってしまった。次の

晩もまたおかみさんは変な声を出していた。その次の日はあいにくと朝から雪となり夜は一面真白な銀世界となった。夜中にふと目をさました主人は、耳をすませると雪を踏んで家に近づく音がする。そつとのぞいて見ると川から庭に足跡がついているが、姿は見えない。主人は急いで獵銃を取り出し近づいてくる足元をぬらつてうった。すると赤い血が真白な雪を染めながら真山の大きな木のほころの中に消えていった。

川口の浜に出かけた。ある日のこと、どうしたことが、今迄になく沢山の魚を釣り上げ喜んで帰った。あくる日も出かけたが昨日と同じように沢山釣れた。調子づいた主人は、次の日も行って釣り糸を垂れていると、沖の方から誰か呼ぶ声がある。姿は見えない。主人はその声に吸込まれるように声のする方へ泳いで行った。沖へ沖へと泳いでいるうち主人の姿は見えなくなつた。村人が大勢で捜したがみつけることはできなかつた。村人はかつぱのしかえしにあったのだとうわさするようになった。

主人は釣が好きでよく尻無川の

古老のはなし



サークル紹介 ④6

園田地区生活改善 「オレンジグループ」 健全なグループ 活動をめざして

私たちは、昭和四十五年農村婦人としての経営管理能力を習得することを目的とし、若妻会として発足。会員のほとんどがミカン生

産農家であったため四十八年には「オレンジグループ」に名を改めました。現在の会員は十人。活動内容は農繁期を除き、年間計画に基づき農作業の学習や、また昨年建設された公民館には広い炊事場も設けられ、食生活改善学習もやりやすくなり大変喜んでいてこそです。忙しい毎日を送っている私たちですが、時々小学校体育館でミニバレーボールなどを行い、会員の親睦を図りながら全員が健康で豊かな生活ができるように、これからもがんばっていききたいと思えます。

(代表者 園田福栄)

阿久根歌壇

折田憲司選

(秀逸)

山に住む友訪ねゆく 細き道舗装にあらぬ土の親しき
藤本 赤崎 タエ

(評)

ナイーブで新鮮な感覚の作者と自然との一体感が良い。「土の親しさ」とは一見平凡だが修辞が無ければ言える言葉でない。

(佳作)

子の作りし貴しきころの貯金箱十円落しその音を聞く
藤本 宮原 範子

若葉萌ゆる山のなだりに建つ家は香の育ちし懐しき家
藤本 京田久美子

生物の執みる思ひひたすらに葉の目つくらふ蜘蛛の姿に
翠 平 川加 スミ

バスケットボールの子連に敗れし娘の顔は意外に明るし若さに満ちて
黒の浜 野村カツエ

出張より帰り降りたつ無人駅宵待草のつらなりて嘆く
愛 媛 小島 和子

送り来し春の若草に使ひ出づ和和に採りし阿久根の海を
愛 媛 小島幸太郎

図書館だより

今月の新着図書



▽藤本憲幸「脳を鍛くする知られざる連続記憶法」▽加藤謙三「さまざまな人生」▽山と溪谷社「穂高を歩く」▽小室リツ「初めて書いた生命保険20倍活用法」▽中山千夏「現代日本女性の気分」▽安部譲二「さらば、極道」▽赤沢潔「血圧とじょうずにつきあう法」▽赤川次郎「子家騒は危機一髪」▽三浦哲郎「モーツアルト荘」▽松本清張「霧の会議 上・下」▽泡坂妻夫「妖盗S79号」▽阿刀田高「明日(あした)物語」▽津本陽「清水次郎長 上・下」▽渡辺淳一「雪舞」▽永山則夫「捨て子ごっこ」▽畑山博「イカロスの夏」▽萩原葉子「殺(ころ)れた飯面」▽ジョン・ガードナー「オクトーバー・ライト」▽丸谷才一「夜中の乾杯」▽中島梓「くたばれグルメ」▽上坂冬子「毒薬の原爆乙女」



阿久根に生きる④

松永 矢四郎さん (87) 牛之浜区

魚とり一筋に七十年 「まだ若い者には負けん」

七月十二日に八十七歳の誕生日を迎えた松永矢四郎さんは、元氣いっぱい現役の漁師さんです。初めて船に乗り、漁に出たのは十四歳の時で、約七十年間経った今でも広い海を相手に毎日がんばっています。

「昔はろこぎだったが、今は機械の良いのができてだいぶ楽になりました」と笑みを浮かべて話されますが、二十年ほど前に亡くなった奥さん、センマツさんの話にふれると急に寂しそうな顔をされます。

「昔はろこぎだったが、今は機械の良いのができてだいぶ楽になりました」と笑みを浮かべて話されますが、二十年ほど前に亡くなった奥さん、センマツさんの話にふれると急に寂しそうな顔をされます。

友だちの輪 ④

牧内区

中野真理子さん (23)

南国殖産勤務



- 趣味 読書・料理
- 好きなことば 忍耐
- 理想の男性 包容力のある、たくましい人
- 仕事の心がまえ

まちがいをしないよう気をつけ、また、笑顔を忘れずに職場の人たちから好かれるように心がけています。

※ 友だちを紹介してください。
弓木野区の落直美さん
次はあなたの出番です。

ハイイ元気だよ



若松 美幸ちゃん (4)

尾崎区

若松幸徳さんの長女

「自転車に乗って遊ぶのが大好きで、食べ物は特にカレーライスを作ってやると喜んでおいしそうに食べます。

明るく元気に育ってほしいと願っています」
さつみさん (お母さん)

誕生 おめでと

赤木 惠	下山 那月	慶越 円	折橋 雅俊	園田 香	松下美沙紀	佐々木悠矢	小谷 七美	大西 孝幸	濱田 麻未	徳丸 明良	太西 舞	大瀧あゆみ	徳田 詩織	中村 瞳	山迫 千尋	松永 智子	稲尾 佳祐	平石 裕亮	宮原 綾香	深田のぶ子	今村 志穂	小原 昌市	倉津 恰也	松田 千草	下藤 賢司	尻無 公平	萩山 奈々	山下 陸	藍岡 祥平	出生児
悟	修	博	雅彦	直	周一	勝喜	哲朗	洋一	隆明	喜代志	貞行	謙一郎	利則	憲	健二	光志	秀人	龍喜	道秋	八郎	勝志	哲	信義	幸次	和広	良輝	一美	決	隆夫	保護者
(牧内)	(大尾)	(牟田)	(弓木野)	(上原)	(新町)	(高之口)	(下村)	(大谷)	(下村)	(大丸)	(寺山)	(新町)	(寺山)	(仲仁田)	(黒之上)	(折口東)	(牧内)	(折口東)	(黒之上)	(筒田)	(大尾)	(大尾)	(倉津)	(牧内)	(尻無下)	(尻無中)	(上原)	(山馬場)	(橋之東)	区名

給油所の日曜当番店

追 瑞衣 正明 (一段)
鬼塚 啓泰 正 (遠見ヶ岡)
松永 真奈 清美 (大丸)

8月30日
栗瀬石油 (赤瀬川) 721093
田中石油 (大川) 740039
9月6日
阿久根石油 (鶴見町) 720318
寺下石油 (橋之西) 752077
9月13日
阿久根石油 (脇馬場) 750038
丸善石油 (新町) 720266
9月20日
落合石油 (上原) 750055
南国産産 (鶴見町) 720362
9月27日
阿久根市農協 (折口) 751302
阿久根石油 (港町) 732430

在宅医さん

日曜、祭日の在宅医の診療時間は午前9時から午後5時までです。急患の方以外はご遠慮ください。

8月30日
有村原健人・内科 734180 (栄町)
北国外科 720016 (町)
黒木外科 750200 (下村)
9月6日
上園医院 731055 (町)
上野医院 720420 (町)
平医院 752626 (古里)
9月13日

堀切産婦人科 720263 (高松)
田中外科 730553 (大丸)
石原医院 750045 (橋之東)

9月15日
大塚眼科 720306 (浜)
内山病院 731551 (高松)
藤本病院 752121 (橋之西)
9月20日
筒井耳鼻咽喉科 720040 (栄町)
喜多医院 720038 (大丸)
浜之上医院 752600 (脇馬場)
9月23日
阿久根内科 720578 (琴平町)
北国外科 720016 (町)
黒木外科 750200 (下村)

篤志寄付

次のかたがたから、広報送付の

お礼として寄付をいただきました。ありがとうございました。敬称略)
中野俊彦・花田豊喜 (千葉県)
馬見新保 (北九州市) 尻無清四夫 (東京都)

社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございました。敬称略)

別府律子 (永田上) 村山好弘 (山馬場) 猿楽タミ子 (大川島) 猿楽コメ (佐瀬) 川原功 (遠矢) 川畑千枝子 (的場) 園田シズ子 (山馬場) 高濱操 (脇本浜) 大瀧喜一 (大瀧) 寺地東之志 (尻無中) 慶越林蔵 (永田上) 藤園武美 (大

「めいふくを」お祈りします

死亡者・年齢区名	87 (牟田) 年則	87 (牟田) 年則
猿楽キクマツ 87 (佐瀬) コメ	57 (黒之浜) 一良	73 (大瀧) 喜一
倉津シカノ 84 (上野) 龍太	73 (大瀧) 喜一	85 (上野) 謙田冷子
川原 カオ 78 (遠矢) 功	73 (尻無中) 東之志	85 (高之口) 新一
櫻平ハルエ 65 (深田) 愛和園	81 (米次) 秋義	73 (尻無中) 東之志
江川 キト 89 (荻野) 益満利率	81 (大川島) 武美	81 (米次) 秋義
高濱キクノ 82 (脇本浜) 操	95 (黒之浜) 義正	81 (大川島) 武美
川畑 作太 81 (的場) チエ子	54 (田代下) 山下論	95 (黒之浜) 義正
上村チリ子 60 (裕) 徳栄	62 (尻無中) トキミ	54 (田代下) 山下論
中道 清男 84 (大丸) 西勘三郎	57 (佐瀬) シズ子	62 (尻無中) トキミ
	78 (瀬之上) 藤維	57 (佐瀬) シズ子

人口	29,404 (+10)
男	13,673 (-7)
女	15,731 (+17)
世帯数	10,265 (-1)

住民基本台帳人口と滞滞数
8月1日現在
(は7月1日から)

7月の市内交通事故	発生件数	13 (15)
	死亡者数	0 (0)
	傷者数	17 (18)
		98

() は前年
今年計

交通事故相談日
9月10日(木)
午前9時30分〜午後4時
市役所市民相談室

川島) 西勘三郎 (大丸)
▽篤志寄付
七月十二日、市中央公民館で公演された片岡長次郎・座より、ねたきり老人のために役立ててくださった、公演の合間に行ったお茶の販売益金。

事業主の方に助成します 地域雇用開発助成金制度

▼助成金を受給できる事業主は次の1及び2に該当する事業主

1 雇用開発促進地域で、事業所の施設や設備を新設、増設、購入、賃借して（その費用の合計額が五百万円以上）新たに事業を始め、または拡大すること。

2 1に伴い、その地域に居住する求職者を公共職業安定所の紹介により常用労働者として雇入れること。

設置、整備した事業所の操業開始日から一年間、雇入れた労働者に支払った賃金の大企業は二分の一、中小企業については三分の二を助成するなど。詳しくは、公共職業安定所阿久根出張所まで ☎3400

郵便外務職員 採用試験の案内

▼第一次試験日
昭和六十二年十月十一日(日)

▼第二次試験日
十一月中旬(下旬の指定日)
▼受付期間
九月一日～九月十日
▼採用予定人員
北九州地区 七十人
南九州地区 三十人
詳しくは、お近くの郵便局でおたずねください。

就学義務猶予 免除者の 中学校卒業程度 認定試験の案内

病氣など、やむを得ない事由のために、義務教育諸学校に就学することができず、就学を猶予されたもの。

自衛官募集の案内

▼応募資格
十八歳以上二十五歳未満で中学校卒業程度以上の学力を有するもの。

▼試験科目
筆記試験(国語・数学・社会) 身体検査・適性検査・口述試験

▼募集期間
男子 昭和六十二年七月一日から九月三十日まで
女子 昭和六十二年九月一日から九月三十日まで
詳しくは、市役所市民課まで

行政書士試験の案内

▼試験日 昭和六十二年十月二十五日(日)

▼会場 鹿児島市

▼受験資格

(1) 高等学校を卒業した者、その他大学に入学する資格を有する者

(2) 公務員として行政事務を担当した期間が通算して三年以上になる者

(3) 知事が前号に掲げる者と同年以上の知識及び能力を有すると認める者

▼受付期間 昭和六十二年九月一日から九月十九日まで
詳しくは、県総務部地方課 ☎992268111 内2094

編集後記

▼日曜日早朝「よし、今日は多くの取材があるのでがんばらねば」と大きな息をこすりながら、まず三万人クレーン作戦の取材で、臨本海水浴場に来てみると、おじさんが「清掃作業はもう終わりましたよ」の一言にガックリ。

▼長崎観光ツアーの人たちが船に乗るところを写真にとらねばと新港に着くと、予定時間より早めに出航港から出ていく船にぼう然。

▼海水浴客でにぎわっている阿久根大島の写真とりに行ったら、これまた、できあがった写真は気に入らないものばかり。

その日は汗ビッショリの反省の一日。まだまだ未熟ですね。(英)

市役所職員の採用試験の案内

▼採用職種及び採用人員
一般事務職 若干名
農業技術職 1名
林業技術職 1名

▼受験資格
□一般事務職

①昭和37年4月2日から昭和44年4月1日までに生まれた高等学校卒業程度(昭和63年3月卒業見込みを含む)の学力を有する者

②阿久根市に本人又は、父母が住所を有する者
□農業技術職 林業技術職

①昭和37年4月2日以降生まれた農業技術及び林業技術の専門課程を終了し大学を卒業(昭和63年3月卒業見込みを含む)した者

▼1次試験

昭和62年10月4日 市役所会議室

▼試験内容

教養試験 適性試験 作文試験
専門試験(農業・林業技術職のみ)

▼受験申し込み期間

昭和62年9月1日から9月14日まで(平日8時30分～17時 土曜日8時30分～12時)

▼受験手続

受験希望者は次の書類を市役所総務課職員係に提出すること

- (1)履歴書(市役所に備えつけのものに自書)1通
 - (2)卒業証明書又は卒業見込証明書 1通
 - (3)写真(最近撮影したもので縦4cm横3cm)2枚
 - (4)成績証明書(開封は無効)1通
- 詳しいことについては、職員係へおたずねください。 ☎1211(内)211